

兵庫県初記録のヒコサンジュウジアトキリゴミムシ

森正人

ヒコサンジュウジアトキリゴミムシ *Lebia (Poecilothais) hikosana* Habu, 1955 は、福岡県英彦山の標高 1000m 付近の樹皮下で得られた 2 個体を基に記載され、その後は英彦山付近の北岳と古処山で記録（高倉；1972,1974）された。これらは、ともにケヤキ樹皮下で採集されている。英彦山以外では、松本（2000）が伊豆大島・御蔵島・関東の一部から記録し、神奈川昆虫談話会（2004）が神奈川県横浜市・大和市・茅ヶ崎市から、森・古巻（2012）が茨城県取手市周辺のイボタノキ *Ligustrum obtusifolium* から、数多くの個体を採集・観察できたことを報告している。その後、須田（2020）は群馬県からのやや古い記録を報告しているが、全国的に採集記録が少なく、生態情報にも乏しい種類である。

筆者はこれまで記録のなかった兵庫県から採集しているの、報告しておきたい。

採集記録：1♂1♀、兵庫県宍粟市波賀町赤西溪谷、30.VIII.2014、森正人採集

サンプルの体長は 4mm 前後で、茨城県産と比較するとやや小型であるが、上翅の独特の斑紋や♂交尾器形態、♂の中脛節 2 箇所の切れ込み（図 2）などの特徴から本種と同定した。

採集環境は広葉林内の樹幹で、数多くのミヤマジュウジアトキリゴミムシ *L.sylvarum* に混じって得られた。

○引用文献

神奈川昆虫談話会,2004. 神奈川県昆虫誌Ⅱ.
松本慶一,2000. 御蔵島のゴミムシ採集記録. 東京都の自然,(26), 東京都高尾自然科学博物館.
森正人・古巻進,2012. アトキリゴミムシの生態に関する



図 1. 兵庫県産ヒコサンジュウジアトキリゴミムシ♂.

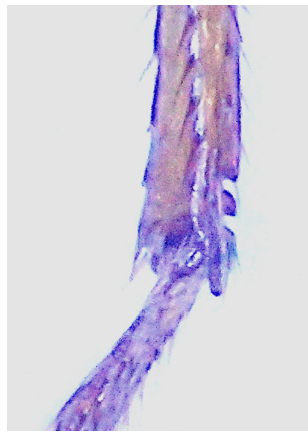


図 2. ヒコサンジュウジアトキリゴミムシ♂中脛節の切れ込み

る覚書.SayabaneN.S.(6):38-40.

須田亨,2020. 群馬県産歩行虫の覚え書 IX. 乱舞,(25);14-16.

高倉康男,1974. 北九州の注目すべき甲虫類. 北九州の昆虫,20(1).

上野俊一ほか,1985. 原色日本甲虫図鑑(Ⅱ). 保育社.

Masato MORI 環境科学大阪株式会社

兵庫県におけるマルチビガムシとゴマダラチビゲンゴロウの記録

森正人・西野洋樹

マルチビガムシ *Pelthydrus japonicus* M.Sato, 1960（ガムシ科）は本州、四国、九州（対馬）の清流域に生息する流水性の種類であるが、採集記録が大変少なく、また採集地における確認個体数が少ないことなど、生態的に不明な部分が多い。近年では、大阪府と和歌山県（森本・中島, 2011）、滋賀県（村上, 2013）及び対馬（上手, 2019）における採集記録が報告されているが、兵庫県においてはこれまで記録が無かった。筆者のひとり西野は、兵庫県北部の新温泉町で採集しており兵庫県初記録として報告する。

1ex 兵庫県美方郡新温泉町久斗川 29-X-2022 西野採集保管（図 1）

また同時に、ゴマダラチビゲンゴロウ *Neonectes natrix* (Sharp, 1884) が比較的多く確認された。この種も兵庫県内では丹波市やその周辺以外での記録が見られない種であるため、併せて報告しておく。

3exs 兵庫県美方郡新温泉町久斗川 1-X-2022 西野採集（図 2）；
14exs 同所 29-X-2022 西野採集

これらの種が確認されたのは、植生が殆んど無い砂礫質の小河川（図 3）で、水際の砂礫を攪拌することで採集された。

○引用文献

上手雄貴,2019. 対馬におけるマルチビガムシの記録. Sayabane,N.S.,(34):60-61.
村上大介,2013. 犬上川でのマルチビガムシの採集記録.Came 虫,(170):11.
森本静子・中島淳,2011. 近畿地方におけるチビマルガムシの採集記録 2 例. 月刊むし,(482):43-44.

Masato MORI 環境科学大阪株式会社

Hiroki NISHINO 大阪府松原市